

平成 27 年 4 月 8 日

病院・薬局実務実習関東地区調整機構
平成 26 年度事業報告（案）

1. 平成 27 年度実務実習に向けて

- 1) 実習施設の割振り調整のための新規割振りシステムを構築し、前年度と同様のスケジュールにより Web 上で大学のエントリー入力方式で病院・薬局ともに支障なく行った。この際、新規システムの導入による大きな問題はなく今後スムーズな割振り調整が実施できるものと思われた。
- 2) 指導薬剤師の養成「認定指導薬剤師養成ワークショップ（WS）の開催」については、関東地区調整機構として 18 回、32P の WS を開催した。（下表参照）

平成 26 年度に実施した WS 一覧

	開催日	会場	事務局	規模
第 1 回	4 月 26 日,27 日	星薬科大学	日本保険薬局協会	2P
第 2 回	5 月 3 日,4 日	日本薬科大学	埼玉県薬剤師会	2P
第 3 回	7 月 20 日,21 日	国際医療福祉大学	国際医療福祉大学	1P
第 4 回	7 月 20 日,21 日	昭和薬科大学	神奈川県薬剤師会	2P
第 5 回	7 月 20 日,21 日	慶応義塾大学	東京都薬剤師会	2P
第 6 回	7 月 20 日,21 日	高崎健康福祉大学	高崎健康福祉大学	1P
第 7 回	8 月 23 日,24 日	帝京大学	日本保険薬局協会	2P
第 8 回	8 月 23 日,24 日	日本大学	日本大学	2P
第 9 回	9 月 14 日,15 日	横浜薬科大学	神奈川県薬剤師会	2P
第 10 回	9 月 14 日,15 日	帝京平成大学	東京都薬剤師会	2P
第 11 回	9 月 14 日,15 日	新潟薬科大学	新潟県薬剤師会	2P
第 12 回	11 月 2 日,3 日	茨城県薬剤師会館	茨城県薬剤師会	1P
第 13 日	11 月 2 日,3 日	明治薬科大学	明治薬科大学	3P
第 14 回	11 月 23 日,24 日	山梨（富士 Calm）	山梨県薬剤師会	1P
第 15 回	11 月 29 日,30 日	長野県薬剤師会医薬 品総合研究センター	長野県薬剤師会	1P
第 16 回	平成 27 年 1 月 11 日,12 日	帝京大学	東京都薬剤師会	2P
第 17 回	平成 27 年 2 月 14 日,15 日	東邦大学薬学部	東邦大学薬学部	2P
第 18 回	平成 27 年 3 月 14 日,15 日	帝京大学	関東地区調整機構	2P

3) アドバンスワークショップの開催

東京都薬剤師会、千葉県薬剤師会、神奈川県薬剤師会、長野県薬剤師会、埼玉県薬剤師会、栃木県薬剤師会、新潟県薬剤師会、日本保険薬局協会を担当事務局としてWS形式や講演会形式で8回のアドバンスWSを行った。

4) ふるさと実習（地区内外）の推進について

ふるさと実習（地区内外）を積極的に推進した。27年度の地区外への希望者は、病院37名（決定35名）、薬局19名（決定19名）であった。また、地区外から希望者は東北地区、東海地区、近畿地区からあり、病院26名（決定19名）、薬局29名（決定24名）であった。昨年並みの数字であり、更なる推進対策を検討する必要がある。

2. 平成26年度実務実習の円滑な実施と評価について

1) 実務実習実施状況調査について

第Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ期実習について、各大学に実務実習実施状況調査を行った。Ⅲ期についてはまとまり次第報告する。トラブルに関してはこれまでと類似の事例が報告され、連携等に関しては問題なく行われていることがわかった。また、今後、大学のみでなく病院・薬局からも実務実習実施状況を報告してもらうようにした。

2) 実務実習に関するトラブル事例の収集と防止策の検討について

実務実習実施状況調査におけるトラブルに関する記載形式を変更し、トラブル防止小委員会にてトラブル事例の収集と防止策を検討しやすくした。

3) 各小委員会の開催について

大学、病院、薬局、指導薬剤師養成、トラブル防止の各小委員会を必要に応じて開催した。また、各小委員会において改訂コアカリキュラムに基づく実務実習に関する意見の収集と取りまとめを行った。

4) 実務実習の質の担保への取り組みについて

25年度に作成した「関東地区調整機構における実務実習のガイドライン」をホームページに掲載するとともに、新たに実務実習関係者（大学および教員、業務統括者・部門長、認定指導薬剤師、指導に関わる薬剤師）に期待される役割についてのガイドラインを追加策定し、関係機関に配布し周知徹底をお願いした。